



桜景色の最上公園

最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2023年4月号

山形県最上総合支庁 隔月発行

最新情報はツイッターでご覧ください



最上総合支庁長就任のごあいさつ



最上総合支庁長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

県民生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症については、発生から3年以上が経過し、引き続き感染予防対策が必要ですが、マスクの着用が個人の判断とされたほか、5月8日には感染症法上の位置づけが5類へと移行されるなど、大きな転換期を迎えております。

こうした中、この最上地域においては、昨年11月に、東北中央自動車道の東根北ICから村山本飯田IC間が開通し、最上地域と首都圏が高速道路で一本に繋がりました。また、今年の10月1日には、新県立新庄病院がオープンし、最上地域では初となる地域救命救急センターも設置されます。さらに、来年4月には、最上地域初の4年制大学となる「東北農林専門職大学(仮称)」が開学するなど、大規模プロジェクトが動いており、最上地域発展の絶好の機会であると考えられます。

最上地域での勤務は6年ぶりとなりますが、そのときの経験を活かし、この地域の豊かな自然、それを活かした農林業をはじめとする産業、長い歴史を持つ文化、温かい人柄といった地域の魅力を大切にしながら、地域の皆様、市町村や関係機関の方々と力をあわせ、地域産業の振興や観光誘客・交流人口の拡大、地域医療福祉の充実など、最上地域のより一層の活性化に繋がられるよう、最上総合支庁一丸となって取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。



最上総合支庁長
菅原 和彦

ユメリオンが新入学児童に交通事故防止を呼びかけ！

4月11日、新庄小学校、日新小学校、明倫学園の校門前において、最上総合支庁長、最上教育事務所長、新庄警察署長等が、交通安全啓発ティッシュを配付し、交通安全を呼びかけるとともに、交通ルールの指導を行いました。

「新入学児童(園児)の交通事故防止強化旬間」が4月6日から4月15日まで県下一斉に展開されており、最上地区では初登校日にあわせ、令和元年から3年ぶりに実施したものです。今回は、2月に誕生した最上地域の魅力を発信するニューヒーロー「未来創造戦士『ユメリオン』」が新庄小学校に登場し、一緒に呼びかけを行いました。 [防災安全室 29-1209]



山形くらしを楽しむ～最上創生懇談会開催～

地域の実情を踏まえた意見交換を行い、今後の施策に活かすことを目的に、2月17日にオンラインで最上創生懇談会を開催しました。農林業や観光、まちづくりなど最上地域で活動する実践者8名が出席し、「山形くらしを楽しむ」をテーマに、暮らしの中でどういった時に幸せを感じるか、地域のどんなところを誇りに思うかなどお話を伺いました。

当日は、出席者から「ご近所付き合いがあって、人とのつながりや温かさを感じるところ」や「自然豊かな環境で、町がコンパクトで便利なところ」に住んでいて幸せを感じるといった話、「“ない”ことが可能性を感じる場所。スタートアップの実証の場にもなるのではないか」といった意見がありました。

最上総合支庁としては、いただいた意見を参考に、最上ならではの地域資源、暮らし方などの価値を見つめ直すきっかけづくりや機運醸成を図り、ひいては、山形県での暮らしや生き方に関する肯定感や評価の向上につなげてまいりたいと思います。



[連携支援室 29-1239]

『ユメリオン』と『モガミル』の夢の共演

ゆめりあの魅力・最上地域の魅力を発信するニューヒーロー「未来創造戦士『ユメリオン』」が、最上地域に誕生しました。

ユメリオンは、2月22日に最上総合支庁を訪問し、泉支庁長と最上地域の魅力について熱く語り合い、共に地域を盛り上げていくことで、固い握手を交わしました。

今後、ユメリオンは、最上8市町村の情報発信のアイコンとして、強い正義のハート「モガメンタル」で、インバウンド、観光、教育、産業などの多岐の分野にわたり活動を広げ、地域の未来を作る子どもたちに夢（エンタメ）を届けていくことを宣言していました。



「ドリームオン！イガッタ！！ユメリオン！」

[観光振興室 29-1312]

もがみ食産業創出プロジェクト始動！

最上総合支庁では、令和4年度、地域の顔となる新たな商品やサービスの創出を目指し、「もがみ食産業創出事業」をスタートしました。

2月16日に「もがみ食産業創出プロジェクトチーム会議」を新庄信用金庫本店で開催しました。金山町ビーナッツを使用の「モンナッツ」や、鮭川村の工房七つの里の「あられこ」、「サマーティアラ使用イチゴジャム」、(株)もがみ物産協会の稲舟復刻のアイデア等について、チームメンバーから、アドバイスをいただきました。



3月1日に、(株)キースタッフ鳥巢研二氏をお招きし、ゆめりあで、「魅力的な食品づくりのノウハウ」をテーマにセミナーを開催しました。「今、食品に対し何が求められているか」等についてお話しいただきました。セミナーを通して、参加者どうしの横のネットワークづくりも行われました。最上総合支庁では、今後とも、最上地域の新品・サービス創出に向けたアイデアの掘り起しとそのブラッシュアップを応援していきます。



[地域産業経済課 29-1307]

第7回最上小国川写真コンテスト表彰式開催

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さの再認識、未来に伝える機運の醸成のため、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに開催した「第7回最上小国川写真コンテスト」の表彰式を、2月22日に「舟形町福祉避難所 てとて」を会場に開催しました。

表彰式では、最優秀賞、優秀賞、特別賞を受賞された4名の方々へ表彰状と小国川流域の特産品を賞品として贈呈しました。また、審査委員の県写真連盟の阿部会長より「年々応募作品のレベルが高くなってきて、入賞作品を選ぶのに苦労した。」との講評をいただき、入賞者からも撮影された際のエピソードや作品への思いなどもお話しいただきました。

入賞作品は、最上小国川清流未来振興機構ホームページに掲載しているほか、今後作品の巡回展示の開催、印刷物等で活用し広く情報発信を行います。〔連携支援室 29-1238〕



令和4年度最上地域農林水産業若者賞 庄司茂雄さん（舟形町・農業）受賞！

最上地域農林水産業若者賞は、農林水産業分野で活躍する若者の優れた功績や、成果、地域の課題解決に向けた地道な取り組みなどを顕彰するもので、これまで、19の個人と団体を表彰しています。

3月9日の表彰式では、舟形町で水稻と園芸（きゅうり）の複合経営を営む庄司茂雄氏が受賞されました。庄司茂雄氏は、平成30年、「太郎野機械利用組合」を立ち上げ、組合長としてミニライスセンターを建設し、現在、利用組合の法人化を目指して活動中です。また、平成31年には、「山形県青年農業士」に認定されたほか、令和3年8月には、舟形町農業ビジョン策定委員に任命され、「舟形町農業ビジョン」の策定にも参画するなど、地域の農業の発展に向け、積極的に活動されています。

これからの最上地域の農業を支える担い手として、さらなるご活躍を期待しております。

〔地域産業経済課 29-1307〕



最上地域エネルギー戦略推進協議会&講演会開催

2月22日に最上総合支庁を会場に最上地域エネルギー戦略推進協議会及び講演会を開催しました。協議会では、管内市町村等の今年度の実績や来年度の事業計画等について情報交換しました。

また、協議会終了後は、事前に申し込みいただいた一般参加者と、オンライン配信を融合したハイブリッド形式により講演会を開催しました。「積雪発電の研究開発の概要とエネルギーの地産地消について」と題して、熱工学等が専門の電気通信大学大学院准教授 榎木光治氏を講師にお迎えし、健康に役立つエネルギー学、雪国ではネガティブに捉えられている雪を発電に利用する「積雪発電」の研究（青森市で実証試験中）など新技術についてご講演いただきました。

講演会には県内外から対面、オンライン併せて約60の方々に参加いただきました。

〔環境課 29-1284〕



榎木講師

新庄・最上ジモト大学を振り返って

「高校生が旅立つ前に学ぶコト」をキャッチフレーズに、地域の「ヒト・モノ・コト」を学ぶ新庄・最上ジモト大学の取組みが始まってから昨年度で6年が経過しました。昨年度は、これまでに最も多い40プログラムを実施し、延べ781名の高校生に参加いただきました。

参加した高校生からは、「豊かな自然や様々な人と触れ合うことができ、地元でしかできないことがあると学べた」や「今まで知らなかった地域の魅力を知ることができた」など、地域や自分自身にも新たな発見があったと感想がありました。

また、プログラムに参加した地域の大人にとっても、若い世代の考え方やニーズが把握できる機会となっていたり、高校生との活動を通して、新たな気づきや学びを得られたといった声をいただいております。

令和5年度は、より地域に根ざした取組みとなるよう、企業や団体等のさらなる参加を得て、高校生も大人も、より深く地域を知り、学ぶことができるジモト大学を目指してまいります。〔連携支援室 29-1236〕



進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小学校高学年や中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

昨年度第5～8回目として、2月9日に日新小学校5年生、2月14日に真室川小学校・真室川あさひ小学校・真室川北部小学校6年生（3校合同）、2月17日に萩野学園8年生、3月3日に戸沢学園8年生を対象に、医療・介護従事者を講師にお迎えして開催しました。

講師からは、仕事の内容とともにこの仕事を選んだ理由や魅力などについて講演していただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。体験内容は、ポータブルエコー体験、妊婦ジャケットの着用、自助具の体験、手話で自己紹介、細胞観察、車いす体験など、各学校で様々な体験をしました。

子どもたちは、講師に教わりながら興味深く取り組み、医療・介護分野への関心が高まったようです。

〔保健企画課 29-1257〕



子どもたちに人気のおいしい給食メニューがレシピ動画に！

各保育園の協力で、自慢の給食レシピや野菜をおいしく食べてもらう食育のコツを教えてくださいました。ぜひご覧ください。

MOCOnetの食育ページにリンクします→



【にこにこ東園】

食育の紹介「命をいただくということ」



さけの命を無駄にしない気持ちを学びます。

ここが骨だよ～

「さけの料理をつくってみよう」



さけをつかったおいしい給食のレシピです！

解体したさけが唐揚げになりました

【なかよし保育園】

「季節の恵み旬の野菜に親しむ給食」



野菜の収穫やお手伝いを通して野菜が大好きな子を育みます。

みんなでちぎった菊が入ってるよ

【戸沢保育園】

「地元の特産物をおいしくいただきます」



戸沢のおいしい野菜を食べて元気いっぱい！

戸沢村の野菜がたくさん♪

保育園の給食を参考にしながら家族みんなでおいしく減塩に取り組んでみてはいかがでしょうか。

〔地域健康福祉課 29-1267〕

最上地域医療的ケア児支援連絡会を開催

3月10日に最上地域医療的ケア児支援連絡会をweb会議にて開催しました。

今回は、こども医療療育センター診療部長 清和ちづる氏から「医療的ケアが必要な子どもたちとその家族への支援」について、また、医療的ケア児等支援センター医師 中村和幸氏からは、「山形県における医療的ケア児の現状とこれからの取組み」について、ご講演をいただき、講演後は、医療的ケア児の災害対策について意見交換を行いました。

最上総合支庁では、医療的ケア児の支援者（主治医、訪問看護師等）とともに、市町村（保健・福祉・防災担当）による災害時の個別避難計画の作成支援について、取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1361]



「にら」のブランド力向上に向けて

最上地域は「にら」の一大産地です。さらに産地強化を図ろうと3月3日に最上広域野菜振興協議会と農業技術普及課が共催し、新庄市民プラザで「にら『達者 de 菜』ブランド研修会」を開催し、約100名の生産者に参加いただきました。

研修会では、国内有数の「にら」産地である栃木県から技術者の藤澤秀明氏をお招きし、播種・育苗管理の先進事例を中心に講演いただきました。さらに農業技術普及課で作成した栽培マニュアル「新品種を取り入れた栽培体系」と産地研究室で開発中の「越冬苗」に関する研究成果を紹介しました。生産者の皆さんは先進技術を吸収しようと真剣に耳を傾けていました。

今後も、巡回指導や研修会を通して生産者の高い技術力を支え、「にら」のブランド力向上につなげてまいります。 [農業技術普及課 29-1331]



地すべりから農地を守る ～地すべり対策事業連絡会の開催～

最上地域には、農地等を保全するための地すべり防止区域が19箇所あります（県内41箇所）。地すべり対策工事は概ね完了していますが、多数ある地すべり防止施設が適切に機能するよう関係機関と連携し対応しています。

大蔵村滝の沢地区では、地区の状況を把握し情報共有を図るため、2月1日に「滝の沢地区地すべり対策連絡会」を開催しました。本地区は昭和45年に地すべり防止区域に指定され、県内で唯一地すべり対策事業が継続されています。

これまでの対策工事の効果もあり、地すべりは収まってきている状況にありますが、県が継続して調査観測や対策工を実施しています。本連絡会は、地区住民や大蔵村、東北農政局と連絡調整を行う場として平成29年から毎年開催しているものです。

県は、これからもこうした機会を活用するなど関係機関と連携し、地すべりから農地を守り地域の安全安心の確保に努めてまいります。

[農村計画課 29-1339]



その他、様々な情報はツイッターでご覧いただけます。

- ・最上地域農業担い手研修会：3月6日（ゆめりあ）
- ・発達障害啓発週間：4月2日～8日（総合支庁ロビー） ほか

Twitter



Information



＝自動車をお持ちの皆様へ＝

自動車税の納期限は、5月31日(水)です。

- お手元に納税通知書が届きましたら、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアでお納めください。
- 今年度より納付書にeL-QRが印字され、スマホ決済や地方税お支払いサイトを利用して電子納付が可能となりました。
- 納付には口座振替が便利です。詳しくは納税通知に同封されたパンフレットをご覧ください。

[税務課 29-1229]

モンテディオ山形パブリックビューイング in ゆめりあ 開催中!

ゆめりあでは、モンテディオ山形アウェイゲームのパブリックビューイングを行っています。勝利に向けて最上地域からも一緒に声援を送りましょう!!

対象：アウェイゲーム
場所：ゆめりあ2階
ホール・アベージュ

入場料：無料
定員：各試合先着100名

[連携支援室 29-1239]



「適塩ランチ」でおいしく健康に

「おいしい適塩ランチ」は4年目を迎えます。今年度も最上総合支庁の食堂で年間4回の提供を予定しています。

一般の方もご利用できますので、適塩でもおいしい野菜たっぷりのメニューをおめしあがりください。



場所：最上総合支庁「千起」
日時：5/19(金)・7/19(水)
10/19(木)・1/19(金)

[地域健康福祉課 29-1267]



「世界禁煙デー」をご存じですか

5月31日はWHOが定めた世界禁煙デーです。

たばこは、吸っている本人の健康への悪影響だけでなく、周りの人のがんや心臓病、流産などのリスクを高めます。

禁煙が遅れるほど、重い肺の病気にかかりやすくなります。

この機会に、たばこについて、自分の健康について、そして周りの大切な人の健康について考えてみませんか。

[地域健康福祉課 29-1267]



～新型コロナウイルス感染症～

基本的な感染防止対策の徹底をお願いします!!

新規陽性者数は、全国的に減少傾向が続いていますが、依然として高い水準にありますので、気を緩めずに感染防止対策を継続していく必要があります。県民の皆様及び事業者の皆様におかれましては、引き続き、以下のことについてご理解とご協力をお願いします。

- マスクの着用は個人の判断を基本としつつ、政府が示す感染防止対策として着用が効果的な場面等に留意してご対応ください。
- また、個人の判断が基本となった後も、引き続き、換気の励行、ゼロ密（密閉、密集、密接の全てを避ける）、こまめな手洗い、消毒など基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

[保健企画課 29-1268]

発行日：令和5年4月20日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

